

丸山湿原群保全の会会報

(第 187 号)

発行日：2023 年 (R5) 2 月 14 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com**戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！**

10 年に一度の大寒波。と聞くと「大変」と思いますが、10 年に一度はあるということ。次は 10 年後に？温暖化の影響で 7 年後ぐらいに、いや 3 年後にも来そうですがどうでしょう。本当に「寒い冬」なののでしょうか？これは 2 月が終わってから発表されるようですが結局「暖冬だった」になるのではないかと勝手に思っています。

トルコ・シリアでは大地震。日本の震度 7 に相当する揺れ。しかも放出されたエネルギーは阪神淡路大震災の 10~15 倍にも及ぶそうです。犠牲者も「東日本大震災」を超えています。時期も極寒期、救援も含め早い支援が望まれます。特にシリアは厳しい。しかも戦争は進行中。心が痛みます。ウクライナ・ロシアも救援隊派遣というのが唯一の救いか。不思議な気がします、戦中にも日常があることを感じます。と言っているとロシアの大規模攻撃が始まりました。地震は地震、戦争は戦争なんのでしょうか？ (今住 2 月 11 日作成)

定期活動 ★1 月 22 日 (日) 第 3 湿原・第 1 湿原又マガヤ刈り 9 名で作業

いよいよ本丸 (第 1 湿原) の又マガヤ刈りになりました。第 3 湿原上部 (西側)。第 1 湿原北側を中心に作業。第 3 湿原についてはシカ (鹿) の痕跡はあまり認められない。しかし第 1 湿原はカメラ前を中心に相当踏み荒らされています。「写りたいんかい！」という感じです。親子でくつろぐ姿、オス同士の角合わせ。特に 1 月 15 日 (旧成人の日) に合わせるかのように牡鹿は頑張っていました。又マガヤ刈り取り後はどうなるか？



シカの決闘場



とにかく刈り取り 集積 頑張ろう！

今年度の作業は全面刈り取りはせず、一部残すスタイルをとることになりました。今年だけで結果が分かる訳でもありませんが、「セトウチサンショウウオの産卵に良い影響が出るのでは」という意見を取り入れました。特に第 1 湿原は数が少なくなっている印象。実際のデータはあまり変わらないのですが…全くエビデンスに基づいていない作業です。でも確かに少ない気がする。この感覚は「あかん」のでしょうか？ま〜増えれば成功。水辺に向かう隠れ場所 (隠れルート?) が必要ということになります。湿原内を綺麗にしすぎると「棲家」が無

1 月 15 日 この後角合わせが...

くなるのは事実。倒木を意図的に置くなども検討中です。

雪景色 ★1月27日（金）前日に雪 ちょっと覗いてきました

1月26日、10年に一度の寒波襲来！積雪は？と思っていましたがそれほどでもないような。所謂べた雪で、交通量の多い道路ではすぐに融けたようです。

話はそれますが、数年前までは幹線道路には積雪前夜から融雪剤が撒かれていました。空振りの時も多かったのですが・・・武田尾へ下る（登る）のに助かっていました。しかし最近は融雪剤は撒かれなようです。（融雪剤の袋は置いてあります＝勝手に撒く？）

バスも雪降りの前日から、車庫でタイヤの下にチェーンをスタンバイして雪に備えているのを見た記憶があります。少々の積雪には「足」としての使命を担い、安全確認後走らせてくれていました。事実は確認していませんが、融雪剤を撒いていたのは「バス会社」だったと。現在の「西谷サービスセンター」の横に融雪剤を撒くトラックが停ま

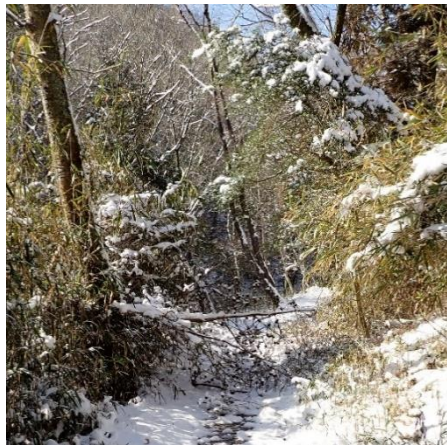


翌日（28日）にも少し雪 幹線道路朝9:00

っていた気もするのですが、どうだったんでしょうか？（市が撒いているかと思っていました）もう融雪剤を撒くことはしないのでしょうか？環境のためには撒かないほうがいいのですが。

今はバスが猪名川からやってくる関係もあるのか、それとも阪急バスの「安全運行規定」があるのか、すぐ「運行停止」に・・・バスを使い学校に通う児童・生徒は休まざるを得ない状況もあるようです。リモート学習もできる時代、問題はないか・・・どうなんだ？

丸山です、翌日の27日に行ってきました。この日の朝は-9℃近くまで気温が下がりました。放射冷却か？天気もよく風もない。行かない理由がない。



駐車場からの入口 枯れ松が倒れています

駐車場付近には枯れた赤松などの倒木がちらほら。入口は「とうせんぼ」状態でした。足跡はなし。誰も来ていないようです。谷道なので日もあまり当たらず積雪は約7cm程度残っています。第1湿原視点場も降り積もった雪がそのまま。私が上がると穢れそうなので上がりません。そのままに。（決して私が不浄だということではありませんのでお間違いなく。いや人間皆不浄か？）「シカの遊び場」も見えてきましたが、積雪中には来ないようです。カメラにも降雪中にやってくるシカは写っていましたがその後はパッタリ。他の生き物も写らず。動物の足跡は歩道にそって進むもののみ。爪がしっかりありアライグマかと思われま



第3湿原木道には2頭の足跡が 爪が大きい



足跡一つない視点場 汚せない・・・

雪はすべてを覆い、何もかも隠してしまいます。天気がいいと特に美しく映えます。一人っきりというのが贅沢ですね・・・ぜひ機会があればチャレンジしてください。ただ、「森公園」から丸山湿原駐車場の道は雪が融けにくい環境ですので、タイヤ等十分気を付けてください。



湿原の水も凍っています

丹波市森林組合による間伐 ★2月1日(土)～中旬

ここ数年、毎年湿原周辺の間伐を行っていただいています。毎年お馴染みの顔です。ただ、最高齢者の方はついに引退。確か77歳？仕事辞めると調子が悪くなるかもと言われてたのが気になります。何か別のことを見つけられているか？



いつもの働きぶり

2月1日から作業が始まりました。今回は第1湿原から第2湿原へ向かう道西側、約4000㎡の作業です。基本常緑樹は伐採。(マツ、サカキ、シキミは除く)1.5m以下に捌いて棚を作っていく。「切り株はできるだけ地際で処理」だそうです。数人で約2週間の作業ですから毎年感心します。

昨年も書きましたが「働き方改革」がこの業界にもやってきて、出勤から退社までを時間内にとということです。青垣からだとも1時間30分(高速不使用)ぐらいかかりますから、実質5時間の作業。休憩もままならないのではと心配になります。その分作業面積が少なくなった様です。



美しい整理 棚にしてまとめます

機材、燃料個人持ちというのは変わらない。ウッドショックもすでに終わり、業界としてはかなり厳しいようです。林業で生活は補助金頼み…でも今年もしっかりとお願いします。もう終わるか？



どうなってるんや？水中プロレス？

ついでとっては何ですが、アカガエル類が産卵しているのではと思い湿原を覗きました。卵は見当たりませんがカエル(蛙)らしきものが…「死んでる！」よく見ると2匹。1匹が死んだカエルの上に？と思ったのですが、よく見ると二ホンアカガエル(日本赤蛙)2匹がプロレス(コブラツイスト？袈裟固め？)をしているではありませんか。しかも水中で。寒いから酸素消費量が少ないのか？冬眠明けでボケてるのか？その後2匹は、水から出ることなく「すたこらサッサ」と水中を逃げていきました。次の雨あたりで産卵が始まりそうです。今年はどれぐらいの産卵が見られるのでしょうか？セトウチサンショウウオもそろそろです。

可愛い長靴隊登場 ★はなみずき保育園 本園1月20日 分園2月8日 ご来訪 登山やで！

今年度2回目。本園分園とも同じ内容で実施しました。冬は丸山周遊コース。「ズリ遊び」のオプション付き。オプション料は「グルテンフリービスケット」と「芋ケンピ」。



やはりこの長靴はキュンとするね

一昨年から遠足として来ていただいています。夏にはハッチョウトンボやサギソウを観察。小川で水遊びして蛇におののく、まさしくリアル冒険を体験している？基本的に案内はしますが勝手に遊んでくれます。素晴らしい。冒険が好きな子もいれば嫌いな子もいると思いますが、「体験」が最も重要な時期。少々のケガもへっちゃら。たくましい軍団です。



本園は最高の天気 京都？まで見える

今年度2回目。本園分園とも同じ内容で実施しました。冬は丸山周遊コース。「ズリ遊び」のオプション付き。オプション料は「グルテンフリービスケット」と「芋ケンピ」。



ヌマガヤストロー

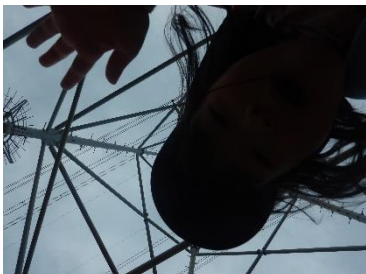
今回はいきなり「ヤブツバキ(藪椿)に残った殻」を紹介。「とって～とって～」の言葉に心が揺れる。ちょっと厳しい高さ。「木登りできる人！」と聞くと、「名人がいるで！挑戦するも足掛かりがない。では

と持ち上げるとスルスルと登って行きます。凄い…そして殻をゲット。次々と「私も私も…」との声。数人登りましたが、時間が足りなくなるので次へ。ちなみに分園の時は私も登ったのですが、翌日なぜか腹筋が痛くなりました。でも62歳でもやるもんだと自画自賛！

その後、湿原でヌマガヤストロー屋さん開店。やはり不動の人気。沢を超え急坂に向かいます。一気にターボ全開モードで子どもたちを引き離し、ついてこれるのは2名～3名のみ。あとは別スタッフに任せた！「鉄塔広場」に到着。そこで待っていたのは「透明怪獣ネロンガ」By 円谷プロ。電気を食べる怪獣を堪能。



これは何なんだ！



でた！ネロンガ

そしてオプションの「ズリ」へ。ロープを張り一応安全は確保。ですがロープもほとんど遊び道具と化していました。凍ててフワフワになった土が気持ちいいらしく、長靴を脱ぎだす子も。お尻も靴下もドロドロ。昔の自分を思い出します。昭和の匂い満載のオプションツアーとなりました。大人も「木登り」や「でっかい砂場ズリ」(はげ山)で遊ぶとおもしろいですよ～。ぜひやってみてください。事故については責任を持ってませんのでご勘弁ください。ただし、ズリ(山頂)あたりでは携帯電話の電波が入るので緊急通報は可能。ふざけてたら怒られるな…お気を付けください。

あっという間に時間が過ぎ、給食が待つ園へ帰って行きました。卒園ですがまた来てください。



沢を渡ってこの後置いてけぼり



まるで昭和の子 お尻ドロドロや



おっ！長靴も脱いでしまった

定期活動 ★2月11日(土)基礎調査第1 湿原ヌマガヤ刈り取り センサスライン設置 10名

目的	市内	市外
丸山	11	21
登山・ハイキング	43	49
散歩	43	28

来場者数計 195人

(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	10:05	9.6℃		
第3湿原	10:21	【7.9℃】	31.3μS/cm	6.9
視点場	10:37	9.5℃	26.2μS/cm	6.5
第1湿原	10:46	【7.2℃】	28.9μS/cm	6.5
第2湿原	11:04	【5.7℃】	33.0μS/cm	未



両生類卵塊数調査前の活動。ヌマガヤ刈りとセンサスラインの設置です。卵も産み始めるころ。昨日は雨。条件はばっちりです。あるかな～と思いながら作業。ありました、ありました。さて増えるでしょうか。調査楽しみです。ぜひお越しく下さい。2月25日(土)丸山湿原駐車場 10:00 集合です。長靴は絶対必要。(申し込み不要！)

次回活動日 2月25日(土)卵塊数調査 26日(日) 3月11日(土)「愛す会」との協働